極秘
無期限

~~有償資金協力課長~~

中近東アフリカ局長
参事官
中近東第一課長
地域調整官
~~首席事務官~~

国連における日・シリア外相会談用発言要領

6. 米国人人質解放問題

(1) 8月及び先般の中山大使の貴国訪問に際しての貴外相の御配慮に感謝。
(及びアサド大統領)

(2) ~~本大臣は~~、本件人質解放のための貴国が多大な努力を払っておられることに対し深甚なる敬意を表したい。
~~するものであるが、今般の米国人人質一名の解放に際しての貴国の御尽力に対し改めて敬意と謝意を表明したい。~~

(3) また、~~先般より~~我が国はイスラエルに対し、~~シリアの立場を考慮しつつ、また~~人道的見地より残るレバノン人捕虜の全員釈放を強く要請してきたが、去る10日右釈放が実現した。~~これ~~~~もとより本大臣としても~~右釈放と米国人人質解放問題とは直接関係はないが、右人質

外務省

解放のための環境は好転することは確かであるが、

~~でも寄与したのではないかと考える。~~

(4) ~~特に、8月、アサド大統領と中山大使が会談した際、同大統領がレバノン人捕虜釈放直後~~

~~動き出してみることとしたいと述べられていたことに自分も大いに力付けられている次第である。~~

日本政府としても自分個人としても本件には強い関心を抱いており、

残る人質の早期解放のため、(今後とも)貴外相及びアサド大統領の御尽力に期待。通常状況に引き続き連絡取れれば幸甚。

~~(5)~~ 自分に なお、本大臣は [redacted] を評価しており、[redacted] と考えている。

[redacted]

[redacted]

[redacted]